

第639回

I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

「じゃじゃじゃTV」

平成31年4月25日（木）

(株) I B C 岩手放送

第639回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成31年4月25日(木) 午前11時
2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|------|-----|
| 委員総数 | 10名 |
| 出席委員 | 8名 |
- 出席委員の氏名
- | | |
|------|--------------|
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 熊谷 志衣子 |
| 委員 | 宮 順子 栗田 均 |
| | 澤口 たまみ 菅原 和彦 |
| | 佐藤 求 龍澤 尚孝 |
- 欠席委員の氏名
- | |
|------------|
| 小松 務 畠山 俊彰 |
|------------|
- 会社側の出席
- | | |
|-------|--------------|
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長 |
| 黒澤 秀之 | 取締役営業本部長 |
| 眞下 卓也 | 取締役メディア放送本部長 |
| 若槻 修 | 報道局長 |
| 角掛 勝志 | テレビ制作部長 |
| 滝村 知大 | テレビ制作部ディレクター |
- 事務局
- | | |
|-------|-----------|
| 平澤 泰志 | 番組審議会事務局長 |
| 宿輪 智浩 | 番組審議会事務局員 |
4. 議題 「じゃじゃじゃTV」
- 【4月6日(土) 午前9時25分～放送】

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 17年目ということで固定の視聴者がたくさんいると感じる番組。いい意味で変化が無く、安心感がある。今回 SL 銀河の特集で意外と知らないことについても触れていた。乗客に「どこからどういう目的で来て、どんな気分」といったインタビューがあればより良かった。
- 要所要所で SL 銀河の中継を入れたり、特集した新生活応援グッズについて視聴者からのファックスやEメールを紹介したりと番組を通して話題を取り上げる構成となっていた。断片的に見る人もいることから 2 時間という長さ故のメリット・デメリットはある。
- 2 時間を通して見て様々なコーナーがあることに改めて驚いた。取材はもちろん、当日のアナウンサーも大変だろうと思う。ちょっと細切れのような印象も受けた。
- 特集の新生活応援は、身近な文房具と高価なハンドメイドのスプーンという購買層の異なる価格帯の商品が登場した。構成が誰に見せたいのかという気はした。
- 自分のような県外出身者にとっては岩手県を知る上でありがたいご当地番組。「岩手を元気にするテレビ」と銘打っているだけあって県内のおいしいもの、楽しそうなイベントの情報が盛りだくさん。週末の行動を決めるのに大いに参考になる。
- お店の紹介も盛岡近郊に限らず県内各地の情報を集めている。スタジオとライブ中継のメリハリ感やキャスターの安心感、安定感がある。
- 八幡平市のハンドメイドのクラフト工房のような、個人で一生懸命仕事をしている人を取り上げてもらえるのは本当にいいことだと思った。販売している場所を知りたかった。
- 個人情報保護の点から難しくなっているが、生中継でその場にいる人には放送の合間で臨機応変に確認を取りながらインタビューに応じてもらおうと、視聴者に身近な番組になるのでは。